

人口減少社会に対応する行政運営のあり方研究会 「道路・橋梁の維持管理」作業部会 状況報告

1 昨年度の活動について

○ 第1回～3回 (H25.11～H26.3)

- ・各自治体が抱える課題解決のための方策を出し合い、対策に取り組むことを確認。

課題:「人が不足」「金が不足」「技術が不足」等…

解決素案:「民間委託を推進」「市民協働を推進」「維持管理すべきものを差別化」「OBを再任用・再雇用」「維持管理・除雪業務等の複数年契約」等…

2 今年度の活動報告について

○ 第4回作業部会 (H26.12.5)

- ・各市町村が採用したいとした課題解決方策への取り組み状況について確認。
- ・方策実施上の課題、成果について情報共有、検討。

○ 第5回作業部会 (H27.3.17)

- ・課題解決に有効と思われる方策について、以下の県の取り組み事例を紹介しながら具体的な方策の実施に向けて意見交換。

① 道路・河川等維持管理業務、除雪業務の通年契約 (2ヶ年契約)

② 退職者の再任用制度 (技術の確保、継承)

③ 市民等との協働制度 (アダプト・プログラム、道路ふれあい美化)

○ 道路施設点検業務の「包括発注」の実施

- ・市町村を支援する新しい取り組みとして「市町村橋梁等長寿命化連絡協議会」が、今年度から市町村の道路施設点検業務を集約して業者に発注する「包括発注」を開始。
- ・今年度は4市町で実施、H27年度は24市町村での実施を予定。

3 次年度の検討方針について

- 市町村とともに、今年度検討できなかった対策案についてさらに研究を進める。

- 次年度に取り組みたい検討項目等

①管理施設の差別化について

維持管理コスト縮減を目的に、長寿命化させる／させない施設を差別化

②老朽化施設の集約化・撤去について

老朽化施設について、利用状況の変化により集約化・撤去を行う場合の、地域との合意形成のあり方を検討